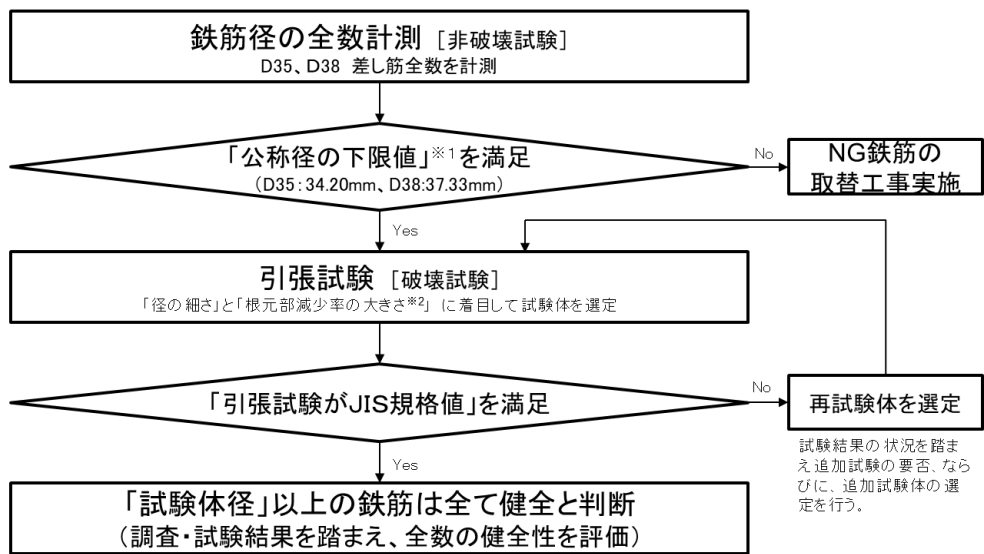


<参考>鉄筋の健全性確認フロー



※1 JISに示されている質量許容差から算出される径をここでは「公称径の下限値」と称する。
(鉄筋径D29以上の質量許容差は±4%)

※2 「根元部の径」を「一般部の径」で割った値が小さいほど、根元部減少率が大きいとする。
なお、根元部減少率が明らかに小さい場合は最小径の試験体のみ採取する。

図 鉄筋の健全性確認フロー

以上